

鴻巣保健センター

健康づくり課 ☎543-1561、FAX 543-5749
子育て支援課母子保健担当 ☎543-1562

吹上保健センター

☎548-6252、FAX 549-2696



こどもの健診・相談
などの情報はこちら

胃がん・肺がん検診、結核検査を実施

2人に1人が「がん」になり、4人に1人が「がん」で亡くなっています。
今年ががん検診を受けてみませんか？

共通事項

性別	日程	時間	場所
男性	1月22日(水)	①②③	鴻巣保健センター
	1月27日(月)	②	コスモスアリーナふきあげ
	1月29日(水)	②③	吹上生涯学習センター
女性	1月21日(火)	①②③	鴻巣保健センター
	1月27日(月)	③	コスモスアリーナふきあげ
	1月28日(火)	②③	吹上生涯学習センター
	1月30日(木)	①②③	鴻巣保健センター

①8時30分～9時 ②9時30分～10時 ③10時30分～11時

対象 市内在住の40歳以上の方(昭和60年4月1日以前に生まれた方) ※勤務先で受診した方や妊娠中の方は受診できません

申込み 1月7日(火)9時以降に電話で健康づくり課(☎543-1561)又は子育て支援課(☎543-1562)。申込み時に希望する検診名と検診日、時間をお伝えください
※郵送・FAXでの申込みや検診会場での受付は行っていません

胃がん検診

現在、腹痛やお腹の張り等の症状がある方は、安全のため医療機関での受診を強くお勧めします

内容 問診・バリウム造影検査

費用 500円 ※生活保護世帯は、受給証を持参により無料

注意 次の①～⑨に該当する方は受診できません

- ①食道・胃・小腸・大腸等の開腹手術(腹腔鏡下手術も含む)を1年以内に受けたことのある方
- ②食道・胃・小腸・大腸等の疾患を治療中、経過観察中の方(内視鏡で胃・大腸ポリープを切除して、2か月以内の方も含む)
- ③過去の検診で硫酸バリウム製剤に対し、発疹等のアレルギー症状が出たことのある方
- ④腎不全で現在透析中や心疾患のために水分制限を受けている方
- ⑤慢性呼吸器疾患等で常時在宅酸素吸入をしている方
- ⑥妊娠中又は妊娠の可能性のある方
- ⑦重度の便秘症の方(バリウムによる腸閉塞の可能性がありますが)
- ⑧高熱や全身衰弱の強い方
- ⑨嚥下障害(飲み込みが悪い)のある方

肺がん検診・結核検査

現在、咳や痰、血痰などの症状がある方は、安全のため医療機関での受診を強くお勧めします

内容 問診・レントゲン撮影(問診結果により喀痰検査)

費用 無料(喀痰検査は別に後日300円)

※生活保護世帯は受給証持参により無料

～検診にあたっての注意事項～

前日	●お酒を飲まない ●20時(就寝3時間前)までに食事を済ませる(20時以降にのどの渇きが強い場合は、コップ1杯(150～200cc)程度の水又はお湯のみは可)
当日	●のどの渇きが強い場合、検査の3時間前までであれば、150cc程度の水又はお湯のみは可 ●飲食(ガムや飴等を含む)や喫煙は控える ●薬(降圧剤・サプリメント含む)を服用中の方は主治医に相談のうえ、検査の3時間前までに内服し、会場受付に伝えてください

1月

休日当番医(診療内容は事前に確認してください) 9時～12時・13時～17時

月日	医療機関名	科目	電話
1/1 (水)	こうのす共生病院	内科	☎541-1131
	こうのす共生病院	外科	☎541-1131
1/2 (木)	埼玉脳神経外科病院	内科	☎541-2800
	埼玉脳神経外科病院	外科	☎541-2800
1/3 (金)	ヘリオス会病院	内科	☎569-3111
	ヘリオス会病院	外科	☎569-3111
1/5 (日)	あおばクリニック	内科	☎580-5670
	鴻巣血管外科クリニック	外科	☎597-5511

月日	医療機関名	科目	電話
1/12 (日)	鴻巣第一クリニック	内科	☎542-5566
	埼玉脳神経外科病院	外科	☎541-2800
1/13 (祝・月)	田嶋医院	内科	☎548-6230
	高橋胃腸科医院	外科	☎542-5018
1/19 (日)	おおさきクリニック	内科	☎580-7720
	仁科整形外科	外科	☎543-7099
1/26 (日)	ひまわりこどもクリニック	内科	☎544-5600
	吹上整形外科医院	外科	☎548-5211

●**県救急電話相談**(大人・小児の相談、医療機関案内) ☎#7119又は048-824-4199(24時間対応)

●**鴻巣市医師会救急ダイヤル** ☎543-9900(24時間対応)

●**夜間診療所** ☎543-1561 診療日 年末年始を除く平日の19時～22時(受付=19時～21時45分)
診療科目 内科・小児科

※軽症の応急処置に限る(熱のある方は事前に連絡してください)



▲休日当番薬局は
市HPをご覧ください



乳がん検診(集団)を実施

女性のがんの中で罹患する人が多く、死亡原因の上位に位置します。乳がんは初期に見つくと治る可能性が高い病気です。ぜひ検診を受けましょう。

日 程	時 間	場 所
2月18日(火)・19日(水)・20日(木)	③④	鴻巣保健センター
2月25日(火)	①②③④	ユニクス鴻巣2階歯科医院前 (北新宿225-1)
2月26日(水)	①②③④	フジモール吹上1階フードガーデン前 (袋90-1)

①10時30分～11時 ②11時30分～12時 ③12時30分～13時 ④13時30分～14時



ピンクリボンは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進するキャンペーンのシンボルです

対 象 市内在住の40歳以上の女性
(昭和60年4月1日以前に生まれた方)

※次のいずれかに該当する方は受診できません

- 勤務先で受診した方 ●昨年度市の検診を受診した方
(無料クーポン券該当者を除く) ●妊娠中 ●授乳中や断乳後6か月未満 ●ペースメーカー・C Vポート(薬液注入器具)・V-P(脳室腹腔)シャント等の医療器具が前胸部に入っている ●豊胸術(シリコン注入・シリコンバッグ・生食バッグ・ヒアルロン酸注入)を受けた ●乳房手術後1年以内

定 員 各日50人程度(先着順)

内 容 問診・マンモグラフィ検査(乳房X線撮影)

費 用 500円(当日集金)

持ち物 バスタオル、令和6年度鴻巣市健(検)診受診券(5月に郵送)、無料クーポン券(該当者のみ)

その他 ●個別検診を受診した方は集団検診の受診はできません ●生理中又は生理前の乳房の張る時期をできるだけ避けてください ●着脱しやすい服装でお越しください ●問診票の記入がありますので、眼鏡が必要な方はお持ちください ●検診結果は概ね1か月半後に郵送します

申込み 次のいずれかで申込み

●1月8日(水)9時以降に電話で健康づくり課(☎543-1561)又は子育て支援課(☎543-1562)

●1月8日(水)9時から2月10日(月)までに電子申請

※フジモール吹上・ユニクス鴻巣会場については、当日会場でも申込みできます



【個人情報の取り扱いについて】

受診者の個人情報は、健康診断に関する判定(診断)、結果の報告、検査の精度管理、健康相談、料金の請求などの目的に利用させていただきます。ただし、次のいずれかに該当する場合は例外とさせていただきます。

- 法的義務のために必要な場合 ●受診者の生命、健康等の重大な利益を保護するために必要な場合 ●疫学調査等、公衆衛生に特に必要な場合



健康に配慮した飲酒の仕方

健康的に飲酒をするポイントについて、厚生労働省公表「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」には、次のように書かれています。

①自らの飲酒状況等を把握する

自分の状態に応じた飲酒により、飲酒によって生じるリスクを減らすことが重要です。医師等へ相談したり、AUDIT(問題のある飲酒をしている人を把握するために世界保健機関(WHO)が作成したスクリーニングテスト。飲酒問題の早期発見等のため、10項目の簡易な質問でアルコール関連問題の重症度の測定を行うものです)等を参考に自らの飲酒の習慣を把握することなどが考えられます。

②あらかじめ量を決めて飲酒をする

自ら飲む量を定めることで、過度な飲酒を避けるなど飲酒行動の改善につながると言われています。行事・イベントなどの場で飲酒する場合も、各自が何をどれくらい飲むかなどをそれぞれ自分で決めて飲むことが大切です。

③飲酒前又は飲酒中に食事をとる

血中のアルコール濃度を上げにくくし、お酒に酔いにくくする効果があります。

④飲酒の合間に水(又は炭酸水)を飲むなど、アルコールをゆっくり分解・吸収できるようにする(水などを混ぜてアルコール度を低くして飲酒をする、少しずつ飲酒する、アルコールの入っていない飲み物を選ぶなど)飲む量に占める純アルコールの量を減らす効果があります。

⑤一週間のうち、飲酒をしない日を設ける(毎日飲み続けるといった継続しての飲酒を避ける)毎日飲酒を続けた場合、アルコール依存症の発症につながる可能性があります。一週間の純アルコール摂取量を減らすために、定期的に飲酒をしないようにするなど配慮が必要です。

本文は厚生労働省公表「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」から、一部抜粋しました。飲酒問題の早期発見等のための簡易な質問AUDITは、インターネット検索することが出来ます。